

技術委員からの追加意見及び事業者の見解

No.	区分	委員名	意見要旨	事業者の見解
1	地形・地質	富樫委員	・施設整備にあたり設計上必要とされる掘削部分の面積と深さについて、現時点で想定される数字（最大値）を示してください。	・現在、測量成果に基づき造成方針を検討中であり、現時点では想定される数字（最大値）を示すことはできませんが、年度内に造成方針を決定するため、準備書には設計上必要とされる掘削部分の面積と深さを記載します。
2	水象	富樫委員	・周辺地域の地下水利用について今後聞き取り調査を行うとされていますが、その際の調査項目を示してください。	・周辺地域の地下水利用調査は、調査時点における利用状況の聞き取りに加えて、井戸構造、現況の地下水位、現地の水質測定項目（pH、電気伝導率、水温、調査時の気温）を調査する計画です。
3	地形・地質	富樫委員	・地域の概況における地象の説明については、対象事業実施区域およびその周辺について以下の点に留意して、一般の人にもわかるような簡潔な説明を加えてください。 (1) 地形：湯川の左岸、右岸における地形の違いと、その特徴。谷地形の特徴（いわゆる田切地形のことを含めて）。 (2) 地質：基本の地質層序と各地層の特徴、地質と地形との関連。 (3) 土砂災害警戒区域等の指定地の分布と、地形地質との関連。	・意見を踏まえて、地域の概況における地象について、準備書には一般の人にもわかるように説明を記載します。
4	地形・地質	富樫委員	・方法書3-6ページで使われている用語について、以下のよう に修正されるとよいと思います。 ・第三紀層→新第三紀層に修正（以前使われていた「第三紀層」という用語は現在は国際的にも使わないことになっています） ・第一軽石流堆積物→小諸第1火砕流（または小諸第1軽石流）	・意見のとおり準備書で修正します。
5	悪臭	塩田委員	・時間帯によるごみ搬入車両の集中により、車両が待機を余儀なくされ、悪臭等の二次的な影響が発生しないよう留意されたい。	・意見を踏まえて、今後、施設に係る受入計画について詳細に検討を進めます。
6	景観	梅崎委員	・景観について公共施設からのモニタージュによる予測を行うこととされているが、幹線道路からは同様に調査しなくてよいか。車で走っていると気になるので、意識されてはいかがか。	・幹線道路におけるドライバーからの視点は移動眺望点となり、予測評価が難しいと考えております。

No.	区分	委員名	意見要旨	事業者の見解
7	騒音	塩田委員	・騒音の評価手法として、騒音に係る環境基準を環境保全目標としているが、地域指定がされていない、もともと静かな場所においては、環境基準と比較することはいかがか。	・施設稼動に伴う騒音の評価は、敷地境界での騒音レベル予測結果について、対象事業実施区域周辺の土地利用を勘案して環境基準のあてはめを行い、比較するとともに、現況値との差分についても評価することとしております。
8	低周波音	塩田委員	・低周波音の予測評価にあたっては「低周波音問題対応の手引書」に記載されている参照値を環境保全目標値として使用せず、施設稼働前後の測定結果について比較検討を行い、もし数値が基準をオーバーしてしまったら、新たな科学的知見に基づいた環境保全の措置により対応するような形としてはどうか。	・低周波音に係る影響評価にあたっては、「低周波音問題対応の手引書」に記載されている参照値も参考としつつ、意見内容を踏まえ、必要に応じて新たな科学的知見に基づく追加的な環境保全措置の必要性についても検討いたします。
9	低周波音	塩田委員	・低周波音の評価の方法として、受音側において影響がないとされる目標値を設定し、その数値から逆算して発生源における目標を定めてはいかがか。	・施設稼動に伴う低周波音の予測は、詳細な施設計画により行うため、今後、当該計画の検討時期との兼ね合いを踏まえて、意見内容について検討します。
10	低周波音	塩田委員	・低周波音についての研究が進んでおり、国内海外問わず様々な知見が出されているため、そういったものを調べていただいた上、今後の資料に記載していただければ事業者としてしっかり調査をされていることが見えるので、お願いしたい。	・意見を踏まえて、今後、低周波音に係る予測評価のとりまとめを実施します。
11	景観	梅崎委員	・煙突が周囲の風景となじむよう、デザインを工夫されてはどうか。 もしくはこの周辺は観光地であるため、ランドマークや展望台的要素を加え、観光資源として活用してはいかがか。	・意見を踏まえて、今後、煙突のデザイン等について検討を進めます。